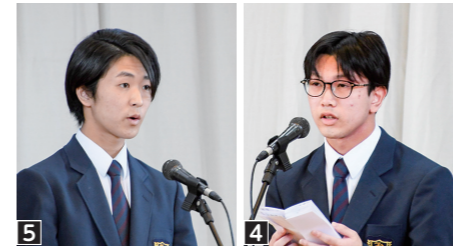
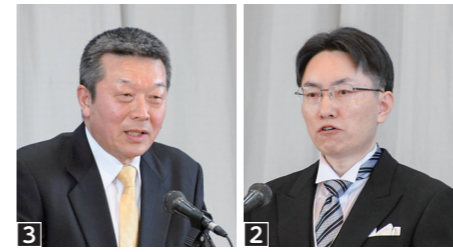


葛巻高校で卒業式 37人が新たな門出



1 凛々しい姿で整列する卒業生 2 式辞を述べる和田校長 3 卒業生を激励する鈴木町長 4 感謝と決意を述べる卒業生代表の翔太さん 5 送辞を述べた在校生代表の羽来さん

葛巻高校の令和7年度第56回卒業式は3月1日、同校体育館で行われ、37人の卒業生が学び舎を巣立ちました。式では、卒業生一人一人が和田健利校長から卒業証書を授与され、晴れやかな表情で新たな一歩を踏み出しました。

も町への思いを持ち続けてほしい」と卒業生の前途を祝しました。鈴木重男町長は「困難に立ち向かっているときこそ、自分が大きく成長しているとき。夢に向かって果敢に挑戦してください。町はこれからも皆さんの応援団です」と激励の言葉を送りました。在校生代表の下館羽来さん(2年)は送辞で「3年生は私たちにとって憧れであり、進むべき道



▲卒業証書を受け取る卒業生

示してくれる存在でした。先輩方から受け継いだ思いを胸に、これからの葛巻高校を築いていきます」と決意を述べました。これを受けて卒業生代表の千葉翔太さんは答辞で、友人や先生、家族への感謝を伝えながら「葛巻高校で過ごした日々の思い出と学び、そして誇りを胸に、自分の足で未来へ歩んでいきます」と力強く語りました。

2月27日、グリーンセンターで行われ、第9期生5人に石角則行教育長から修了証書が授与されました。修了生を代表し、高橋春さんは「集団生活は楽しいことも大変なこともたくさんある。仲間と苦楽を共にし、思い出に残る寮生活にしてほしい」とアドバイス。修了生は別れを惜しみながら後輩たちとの交流を楽しみ、3年間の寮生活を振り返っていました。



▶3年生(前列5人)を囲む山村留學生

山村留學修了証書授与式
令和7年度くずまき山村留學修了証書授与式が

生徒がツアーの企画を提案・運営 郷土の食と体験でくずまきの冬を満喫

2年A組の生徒が企画の提案と運営に携わった「冬のくずまき満腹ツアー」が2月28日と3月7日に行われました。

2月28日は県内外から20人が参加。くずまき高原牧場や森のこだま館など

ツアーの最後は、道の駅レストハウスくずまき高原でくずまき鍋と郷土芸能部による葛巻神楽の演舞を堪能。参加者は満足げな様子で食と伝統文化を楽しみ、生徒たちは随所で町の魅力を発信し、参加者をもてなしました。

初開催「金融経済教育セミナー」 将来に向けたお金の知識を学ぶ

金融経済教育セミナーが2月20日、1年生を対象に行われました。

講師は、S M B C コンシューマーファイナンス株式会社の伊藤悠一郎さんが務め、金融トラブルの注意点や将来に向けた資金運用など、お金に関するさまざまなことを学習しました。生徒たちは真剣な表情で耳を傾けながら、お金について興味を膨らませていました。



1 くずまき鍋の魅力を生徒自ら発信 2 郷土芸能部が権現舞を披露 3 原木しいたけの収穫体験 4 牛の乳しぼり体験で町の酪農について学習 5 ツアーの最後はくずまきワインで乾杯



1 積極的にセミナーに参加する生徒たち 2 株の売買の模擬体験 3 講師を務めた伊藤さん

また、株の売買の模擬体験も行われ、株価の動きや投資の仕組みについて学習。生徒たちは楽しみながら活動に取り組み、投資について実感をもって理解を深めていました。セミナーを通して、生徒たちはお金の将来意識を高め、自身の将来や資産形成について考えるきっかけとなった様子でした。